

自助と共助で 災害に強いまち をつくらう！



大規模災害が発生したときに被害を予防・軽減するためには、自分自身による「自助」、地域住民相互による「共助」、公共機関の救助・支援による「公助」が連携して行動することが必要です。

中でも自主防災組織は、「共助」の中核となるもので、自分たちの地域は自分たちで守るという自覚・連帯感に基づき、自主的に結成する組織です。

自主防災組織に関する留萌の子どもたちが、防災にまつわる様々な疑問を防災博士に聞きました！



Q 自主防災活動はどうして 必要なの？

A 大規模な地震や広範囲にわたる洪水などが発生した場合は、消防や警察などの行政機関による防災活動には限度があるんじゃない。たとえば、「阪神・淡路大震災」

Q 自主防災組織の 作り方は？

A 町内会などで、組織結成に合意し、規約、組織、活動内容を定めることでも成立するんじゃない。また、組織を結成したときは、災害連携を図るため、市・総務課に知らせておいた方がいいんじゃない。自主防災組織は、単に組織を結成するだけではなく、日頃から「海に近い」などといった地域の環境を把握し、災害時に必要な活動内容の整理や訓練・研修などの実践を積み重ねることが大切じゃない。それにより、災害が発生したときには避難などの初期行動を円滑に実施できるようになり、被害を最小限に抑えることになるんじゃない。

Q 災害時要援護者って何？

A 災害時要援護者とは、災害の危険を察知したり、危険を理解したり、適切に行動するために、周囲の支援が必要な人たちのことじゃ。例えば、危険を知らせる警告が聞こえない、または見えない視聴覚障がい者、言葉がわからない外国人、とっさの判断が難しい精神障がい者、地理に詳しくない旅行者、独りで歩くことが困難な傷病者・障がい者・高齢者・妊婦・乳幼児などのことじゃ。

Q 防災訓練の実施は どうしたらいいの？

A 防災訓練は、災害時に必要となる知識や行動の確認なんじゃ。避難訓練のほかに、情報伝達訓練、消火訓練や応急手当講習など、様々な方法があるんじゃない。最近では、地域の特性を把握するため、ゲーム感覚で実施する災害図上訓練「DIG」を実施する市町村も増えてきているんじゃない。「DIG」とは、Disaster (災害)、Imagination (想像)、Game (ゲーム) の頭文字を取ったもので、誰でも参加できる防災訓練プログラムなんじゃ。

防災訓練の実施には、市の担当職員が訓練方法のアドバイスや当日の支援協力もしてくれるので、気軽に相談した方がいいじゃろう。



Q 防災連絡員って何？

A 市では、正確な災害情報を地域の方々に伝えるために、自主防災組織や町内会に「防災連絡員」の配置をお願いしているんじゃない。防災連絡員の登録は、電話番号でも構わないが、メールアドレスを登録している方々に、一斉に伝達することができるので、迅速に災害情報を受け取るためにも、携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録した方がいいんじゃない。



A 災害時要援護者の避難支援制度を平成24年度中の実施に向けて策定中なんじゃ。

この制度は、災害時要援護者個々人の避難支援計画を策定するため、避難支援対象となる方々から手上げ方式（自らの同意）により登録するもので、この名簿や情報、関係機関や自主防災組織などと共有できることになるんじゃない。



● 自主防災組織の役割分担の例

区分	平常時の行動	災害時の行動
情報班	防災連絡員の配置 防災意識の啓発 広報活動 情報伝達の訓練	災害情報の伝達 被害状況の把握 防災機関との連絡
消火班	消火方法の指導 消火器具の点検 初期消火の訓練	初期消火の活動 出火防止の広報
救出救護班	危険箇所の把握 応急手当の習得 救出救助の訓練	救出、救助活動 負傷者の応急手当 医療機関に協力
避難誘導班	避難経路等の周知 災害時要援護者の把握 避難誘導の訓練	避難経路等の安全確認 災害時要援護者の避難支援 避難誘導
給水給食班	食糧や水の備蓄(確認) 給水拠点の把握 炊き出しなどの訓練	炊き出し 物資受入と配給
総務班	避難所運営の確認 地域名簿の作成 自助方法の啓発	避難所の運営 安否確認

■ 防災対策についてもっと 詳しく知りたい場合は？

市では、防災対策に関する様々な相談を受け付けているほか、出前トークを行っていますので、お気軽に左記までお問い合わせください。

お問い合わせ先
市・総務課 ☎42・1801